

# 第11回冬季オリンピック大会 in Sapporo

1972年2月3日に札幌オリンピックの開会式が真駒内屋外競技場で行われ、11日間の大会がスタートしました。札幌オリンピックは、アジアで初めての冬季オリンピックとなりました。35の国と地域から1,006人が参加して、スキー、スケート、アイスホッケー、バイアスロン、ボブスレー、リュージュの6競技35種目が行われました。

## 札幌オリンピックトリビア

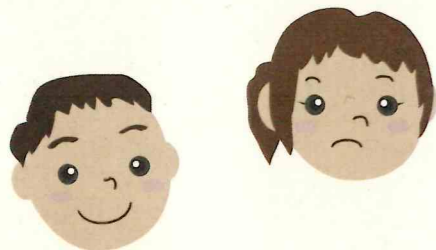
札幌オリンピックトリビアです。皆さんは、知っていますか？



### 地元札幌の小学生が開会式に！

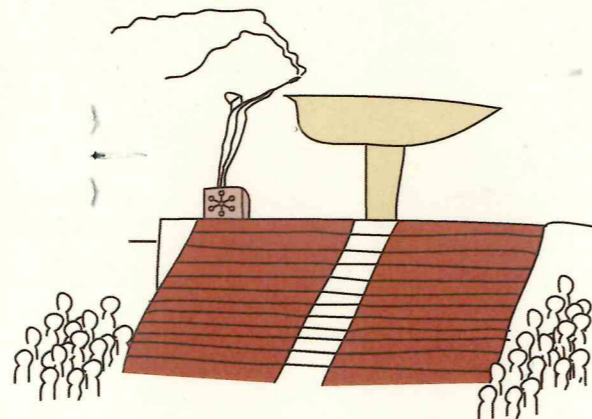
848名の「風船スケーター」が、開会式に出場しました。中には、滑れずに転ぶ子もいて、選手やスタンドの笑いを誘っていたとか。聖火点火の緊張感から一転、楽しく和やかな雰囲気になり、選手宣誓が終わると15,000個の風船が青空に舞い上がったそうです！

札幌オリンピックの時の、札幌のまちはどうだったのかもう少し見てみよう！



### 最終ランナーが何と！？

札幌オリンピックの最終聖火ランナーは何と16歳の高校1年生の男子学生でした。将来有望な若者ということで選ばれたそうです。最終聖火ランナーとしては、史上最年少でした。風船が青空に舞い上がったそうです！



## 札幌のまちはオリンピックでどう変化したの？

オリンピックに向けて、こんな施設ができました。



**真駒内屋外競技場**

つくられた年 1970年  
開催された競技など  
開会式、スピードスケート

**月寒体育館**

つくられた年 1971年  
開催された競技など  
アイスホッケー

**宮の森ジャンプ競技場**

つくられた年 1970年  
開催された競技など  
スキージャンプ、ノルディック複合

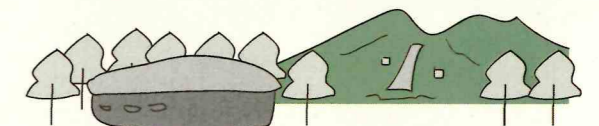
他にも・・・  
地下鉄や地下街も作られました。一体どうしてでしょう？



これらの施設ができると札幌市民にとってどんないいことがあるのでしょうか。

### ～恵庭岳の滑降会場～

滑降競技の会場となった恵庭岳では、自然保護団体などが反発するということもありました。なぜ！？



大会後は、コースを作ったところに木を植えるということで解決はしたようです。

## レガシーって何だろう？

「レガシー」とは、英語で Legacy と書き、「遺産・受け継ぐもの」という意味があります。つまり、札幌オリンピックレガシーとは、札幌オリンピックの遺産、または札幌オリンピックから受け継ぐもの、ということになります。今、札幌市内にある大きな競技場や体育館の一部は、札幌オリンピックをきっかけにつくられました。それをみんなで受け継いでいくという思いがあるから、「レガシー」と呼んでいるのです。

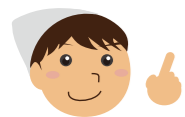
オリンピックには色々な「人・もの・こと」が関わっているのですね！







# 2030年冬季オリンピック・パラリンピック子どもワークショップ ～Today's mission 4～



## ワークショップ

テーマ ～みんなで考えよう！札幌冬季オリパラ！～

『札幌大会が こんなオリパラになったらいいな』

### ■ワークショップの進め方

#### ①自分の考えを付箋に書く。

2030年大会ではみんなはもう大人です。自分は、どんな場面で活躍してみたいかを想像してみよう。いろいろな場面が考えられます。下の例を参考にしてみてください。

- 例1 実際に参加し、大会を作ってみる！（競技者・観客・開催者・報道機関など）
- 例2 札幌はどんなまちになるといいのかを考えてみる！
- 例3 他の都市や、外国からくる客さんのことを考える！（おもてなしなど）

#### ②グループで意見交換

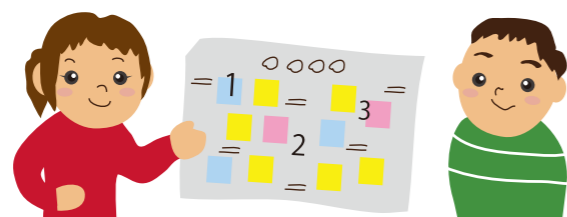
##### <アイデアの発表>

- ・役割分担を決める。（司会者、記録者、発表者）
- ・一人一人の付箋に書いたアイデアを模造紙にはり、発表する。
- ・似ていたり、同じものはグルーピングする。

##### <グループアイデアをまとめる>

- ・グループのオススメのアイデアを3つにまとめる。
- ・画用紙にベスト3を書く。

#### ③みんなに発表



### 話し合いメモ

Blank area for discussion notes with horizontal dashed lines.

### グループアイデア

Three large blank boxes for group ideas.